

月刊ダウンロードガイド

vol.22

最新のオンラインソフトをネットでGet

インターネットで入手できるホットなソフトウェアを紹介するこのコーナー。今回は、単なるBGMやお気に入りCDの管理だけでなく、自作の音源などをみんなに配布する手段としても定着したMP3に関するソフトを中心に紹介していく。音質を向上させるプラグインや編集ソフトを使えば、充実した音楽生活が送れること間違いなしだ。

齋藤正穂(窓の杜)+ 編集部

Winampのノイズが気になる人に! 標準MP3デコーダーに代わる高品質プラグイン

MAD Plug-in for Winamp Ver.0.12.4b



www.mars.org/home/rob/proj/mpeg/mad-plugin/

作者名: Robert Leslie
フリーソフトウェア

Win

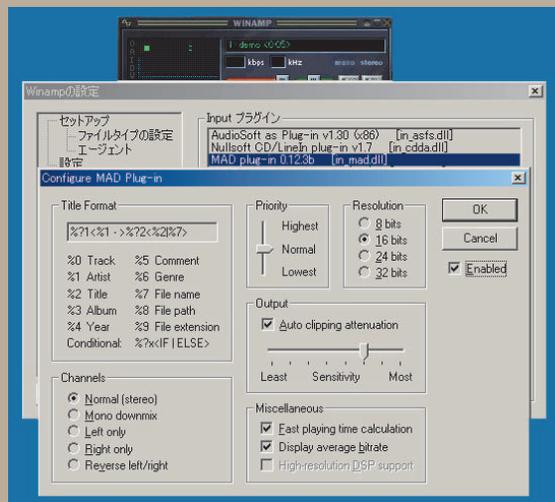
「ココがポイント!」

- ・MP3 エンコードされた音声をできるだけ忠実に再現することを追求!
- ・量子化ノイズやクリップノイズも軽減!

定番オーディオプレイヤーの「Winamp」を愛用しているが、付属する標準のMP3デコーダーの音質では飽き足らないという人にオススメなのが、プラグインソフトの「MAD Plug-in for Winamp」だ。インストールして「Winamp」標準のMP3デコーダーを無効にすると、MP3デコーダーの機能を置き換えられる。作者によると、エンコードされたMP3データをできるだけ忠実に再現して、ダイナミックレンジの広いサウンドを再生できるという。これは、デコード処理の計算を固定小数点による32ビットの整数値で精密に行い、量子化ノイズを抑えるディザリング処理を加えることで実現している。また、過大な音圧でプツツと音が割れるクリップノイズを軽減する機能や、プロ向けサウンドカードでサポートされている24/32量子化ビット数による音声出力も可能だ。音質は好みもあるので、標準のMP3デコーダーと「MAD Plug-in for Winamp」での再生を聴き比べて、気に入ったほうを使うとよい。

(齋藤正穂)

設定画面ではタイトルに表示する情報のほかプロセスの優先度やクリップノイズ軽減のレベルなどを設定できる。



MP3 やWMA にも対応した高機能サウンドエディター

DIGITAL Gretchen!



Get It!

Ver.1.04

Jump [www.excla.com/
Gretchen/](http://www.excla.com/Gretchen/)

「ココがポイント!」

- ・MP3 の読み書きやWMA の作成ができ、CD リッピングにも対応!
- ・MMX やSSE のほか、Pentium4 に搭載されたSSE2 で高速な処理が可能

Win

パソコンで音楽を扱うことはMP3のおかげで一般的になったものの、たいていは音楽CDの曲をまるごとMP3に変換するだけで、取り込んだサウンドを編集することはあまりない。デジカメの普及で画像をレタッチするのがあたりまえになったように、サウンドもリスナーの好みに応じてさまざまに編集できれば新たな楽しみ方ができるに違いない。

作者名 : Kiyotsugu Arai, Excla Inc.
シェアウェア (3,700 円)

“音を紡ぐグレートヒェン”

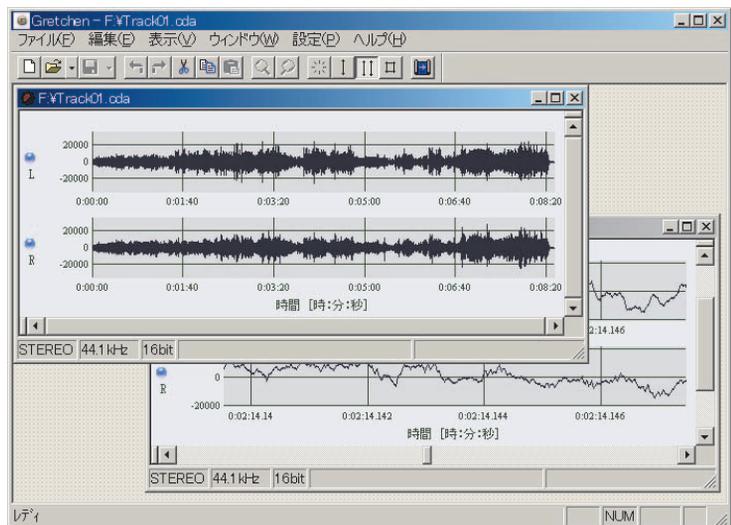
「DIGITAL Gretchen!」は、MP3やウィンドウズメディアオーディオ(WMA)に加え、音楽CDリッピングに対応したサウンドエディターだ。ちなみに「Gretchen」はドイツ語で「グレートヒェン」と読む。基本的なサウンドの編集機能を網羅していて、初心者でも気軽に音声編集ができる。読み込めるサウンドファイルはMP3、WAV、AIFFの各形式で、音楽CDのデータをデジタルのまま取り込むリッピングも可能だ。マイクや音声入力端子からの録音も可能で、最大2Gバイト(音楽CDと同等の品質で約3時間20分)までのファイルを保存できる。MMXやSSEのほかペンティアム4に搭載されたSSE2といった命令セットをサポートしているので、CPUの性能を生かした高速な編集が可能になっている。

サウンドエディターってなにができるの?

サウンドを読み込むと、ステレオの両方のチャンネルの音声波形が上下に並んで表示される。横軸が時間、縦軸がレベルで、波形は音が大きいところほど大きく振れ、音が高いほど密になる。この波形から一部分を切り出したり、別のサウンドをつなぎ合わせたりミキシングしたりといった編集作業を行える。また、フェードイン/フェードアウトをかけることも可能だ。変わった編集機能としては、音の高さを保ったまま早回し/遅回ししたり、逆回しにしたりする機能がある。クリップノイズの原因となる直流成分の除去や、「サーツ」という音がかかるヒスノイズを抑える機能は重宝するだろう。



再生・録音機能をまとめたパネル。再生スピードをスライダーでリアルタイムに変更できる。

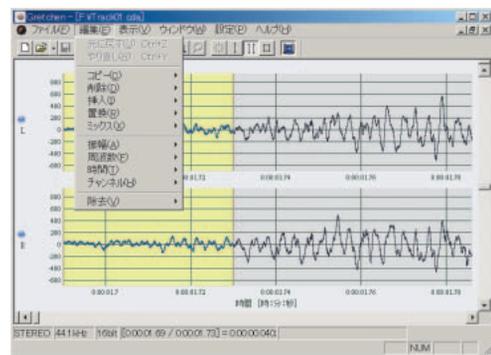


音楽CDとMP3ファイルから音声データを読み込んだ波形。波形の表示は自在に拡大縮小できる。

こんなシーンで活用してみよう

読み込んだ曲の前後にある無音部分をカットしたり、手持ちの音楽CDからサビの部分だけを取り出したサビ全集を作ったりといった使い方もできる。また、録音機能にはタイマー設定も可能なので、ラジオの音声出力とパソコンの音声入力をつなげばパソコンでのエアチェックも可能だ。取り込んだあとは無音部分やCMなどをカットして、別途CD-Rに焼けば、自分だけの音楽CDのできあがりだ。そのほか、自分の声や身近なさまざまな音を取り込んで編集することで、おもしろい効果音を作成することも可能だ。なお、保存はMP3、WAV、AIFFに加えてWMA形式でも可能なので、ファイル形式の変換用にも使える。

(齋藤正穂)



音量のほかサンプリング周波数や量子化ビット数の変更といった変換も可能だ。

Get It!



iTunes 日本語版

Ver.1.0

Mac

「ココがポイント!」

- これ1本でMP3、音楽CD、ストリーミングラジオに対応!
- CD-Rドライブ内蔵機種では音楽CDも作れる!

Jump www.apple.com/itunes/

配布元: アップルコンピュータ(株)
フリーソフトウェア

先日のMACWORLDで登場した「iTunes」は、すでにオンラインソフトが多数あるMP3プレイヤーのなかでも、多彩な機能を手軽に使えるシンプルさが群を抜いて優れている。MP3の再生以外にも音楽CDからの録音やCD-Rへの書き込みにも対応している。何よりこういったソフトが無料で使えるのはうれしい限りだ。

「ライブラリ」からプレイリストを作る

インストールして初めて起動するときに、ハードディスク内を検索してMP3、WAV、AIFFの音楽ファイルを探し出し、アーティストやアルバム名で分類されたデータベースである「ライブラリ」が作成される。まずは「プレイリスト」を新たに作り、ライブラリからドラッグアンドドロップで演奏曲目を追加して再生しよう。また「ラジオチューナ」ではKerbangoo社提供のストリーミングMP3放送局のリストをインターネット経由で取得し、ワンクリックでアクセスできるようになっている。



CD-Rドライブ内蔵機種では音楽CDも作れる

PowerMac G4などCD-R/RWドライブを内蔵している機種では、MP3の楽曲をもとに音楽CDを作成する機能も使える。お気に入りの曲などをドラッグアンドドロップして新しくプレイリストを作成したら、ウィンドウ右上の「CDを作成」ボタンをクリックすると、CD-Rへの書き込みができるようになっている。現在のところ内蔵型ドライブのみに対応しており、USBやFireWire端子に接続した外付けドライブでは使えないのが残念だが、今後の対応がアナウンスされており、改良が期待される。(編集部)

音楽CDを録音するには

ドライブに音楽CDを挿入し、またウィンドウ右上の「読み込み」ボタンをクリックすると、ハードディスクに楽曲を録音できる。録音形式はMP3、AIFF、WAVの3つから選べる。MP3のビットレートは160kbpsと比較的高めに設定されている。ディスク容量を使いたくなければ「編集」メニューの下にある「初期設定」でビットレートを少し下げるとよい。読み込みの最中でも、音楽CDの再生はできる。録音や再生のあいだ、ほかの作業をするのにウィンドウが邪魔なときは「コマンド+1」キーでウィンドウを隠しておくといよ。



設定ウィンドウ。音質は高、良、標準以外に「カスタム」を選べばさらに細かく設定できる。



ビジュアルの表示。フルスクリーンにもできるので、iMacなどをビジュアルエフェクトのプレイヤーとして使える。



録音中。トラックを選択し、ウィンドウ右上の「読み込み」ボタンをクリックすると録音が始まる。



「高度な操作」メニューの「CDトラック名を表示」を選ぶとCDDのサイトから曲目リストを取得できる。

ウィンドウ同士を磁石のようにピタリとくっつける

MagnetWindow

Ver.1.00

Get It!



hp.vector.co.jp/authors/VA013901/
3RD PROJECT / フリーソフトウェア

Win

デスクトップにたくさんのウィンドウを開いて作業すると、ウィンドウ同士が重なり合って目的のウィンドウを探すのに苦労する。「MagnetWindow」をタスクトレイに常駐させれば、ウィンドウを移動したりサイズを変更したりしてデスクトップの端やほかのウィンドウの枠に近づけると、まるで磁石が引き合うようにピタリと吸い付く。複数のウィンドウをタイル状にデスクトップいっぱい配置すれば、無駄な隙間のないデスクトップのできあがり。ウィンドウを移動したり

サイズを変えたりする際に、ウィンドウの座標やサイズをポップアップ表示する機能も便利だ。

(齋藤正徳)

ウィンドウ同士がピタリと接した状態。ウィンドウの左上・右下の座標とサイズがポップアップ表示されている。



IMEの再変換をあらゆるソフトで実現

Pseudo-Reconversion

Ver.1.0 5

Get It!

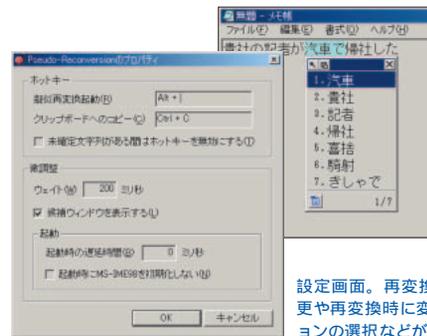


www.ceres.dti.ne.jp/~goto-ta/
ごとーた / フリーソフトウェア

Win

MS-IME やATOK など、最近のIME には確定済みの文字列を未確定状態に戻し、再度変換し直す「再変換機能」が備わっている。誤って同音異義語を確定してしまった場合の修正が簡単にできて便利だ。しかし、再変換機能はマイクロソフトワードなど、対応したソフトでないと使えないのが難点だ。「Pseudo-Reconversion」は、IMEの再変換機能に対応していないソフトでも、擬似的に再変換機能を実現する。再変換機能に対応していないテキストエディターなどで、再変換したい文字列を選択してCtrl+Alt+Zを押すと、文字列が未確定状態になって変換候補が表示される。MS-IME98/2000が必要だが、インストールされているだけでOKだ。変換自体は別のIMEを使っても構わない。

(齋藤正徳)



設定画面。再変換を実行するホットキーの変更や再変換時に変換候補を表示しないオプションの選択などができる。

電光掲示板にニュースやメール情報を表示

Network NEWS Flash

Ver.1.6.3

Get It!



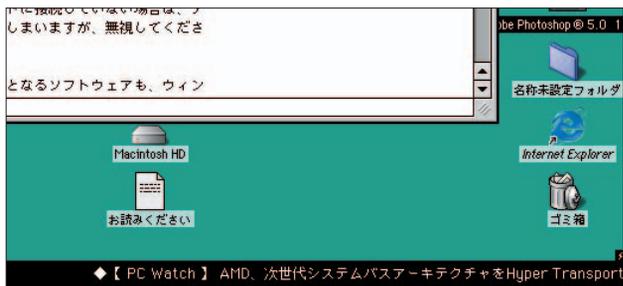
hp.vector.co.jp/authors/VA008500/
山田 亨 / シェアウェア (1,500 円)

Mac

電光掲示板風のネットワークメッセージシステム。デスクトップの最下部に横長の領域が表示され、ネットワークから受信した文字メッセージをスクロールして表示する。

ニュースサイトのヘッドラインを受信する“WWW Headliner”やPOPサーバーにアクセスして新着メールの題名などを表示する“POP3 Headliner”などがある。また、複数マシンでの利用を想定しているので、AppleTalk ネットワーク内でメッセージをやり取りして内蔵時計の時刻を合わせる機能もあるのが便利だ。

(編集部)



ヘッドラインニュースは複数のサイトに対応しており、カスタマイズもできる。

ウェブページのURLを一発で抜き出し

Lemon Macintosh

Ver.0.92

Get It!

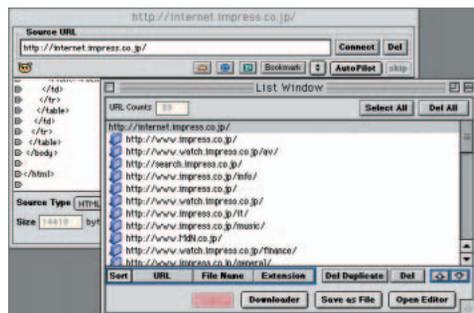


miracle.on.arena.ne.jp/lemon/
CloverSoftware / フリーソフトウェア

Mac

最大で6個のファイルを同時に取得できるダウンロードソフト。連番になったファイルのダウンロードやレジュームなど基本的な機能は押さえられている。なかでもリンク抽出機能が非常に充実しており、ローカルディスクにあるHTMLファイルや、指定したURLにあるウェブページからリンク部分だけを抜き出して、URLの一覧を作成できる。ローカルファイルの場合はウィンドウへのドラッグアンドドロップで、URL指定の場合はURLを入力欄に書き込んで「Connect」ボタンを押すだけと、シンプルな操作で自分専用のリンク集が簡単に作成できる。

(編集部)



ローカルファイルのタイプやクリエーター、可視属性の変更もできる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp